



平成 28 年 3 月 24 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 免 疫 生 物 研 究 所  
(コード番号：4570)  
本店所在地 群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1  
代 表 者 代表取締役社長 清 藤 勉  
問 合 せ 先 取締役事業統括推進本部長 中 川 正 人  
電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)  
U R L <http://www.ibl-japan.co.jp>

## 医化学創薬株式会社の第三者割当増資の引受に関するお知らせ

当社は、2016年3月24日開催の取締役会において、医化学創薬株式会社（代表取締役社長：伊藤勝彦、札幌市、以下、「医化学創薬」）が実施する、当社及び株式会社トランスジェニック（以下、「トランスジェニック」）を引受先とする第三者割当増資（以下、「本第三者割当」）を引受けましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 本株式取得の目的

当社は、遺伝子組換えカイコにより生産した抗体の糖鎖には「フコース」が含まれないことを発見し、その技術により、高いADCC活性を有する抗体医薬品が製造できる可能性を示してきました。さらに、当社は、数年先を見据え、有用な抗体医薬品の製品化を目指し、研究開発資金や連携等の活動資金の獲得のため資金調達を実施しておりますが（平成28年2月12日公表「第三者割当てによる新株式、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債及び行使価額修正条項付き第2回新株予約権の発行並びにコミットメント条項付き第三者割当て契約に関するお知らせ」参照）、今後、抗体に付加された糖鎖の構造解析や糖鎖構造の改変などの「糖鎖関連技術」の重要性は益々高まると考えられます。

一方、医化学創薬は、糖鎖関連技術について世界的な第一人者である北海道大学の西村紳一郎教授らが開発した糖鎖解析・合成技術をキーテクノロジーとして2010年に設立されており、北海道大学との共同研究を通じて、治療標的として有望な創薬シーズの開発を行っています。

このたびの本第三者割当は、医化学創薬の資本政策に基づくものであり、当社とトランスジェニックとが共同で出資を行うことを通じて、当社の遺伝子組換えカイコ技術による抗体医薬品や診断薬の開発技術、トランスジェニックグループの抗体シーズ開発技術や非臨床試験受託実績等の創薬支援ツール、および医化学創薬が有する糖鎖関連技術を融合させ、三者が共同で創薬シーズの創薬及び診断薬開発ステージへの展開を加速化させることが、当社事業の持続的な成長に資すると判断し、本株式取得を実施することといたしました。

#### 2. 医化学創薬の概要

(1)	名 称	医化学創薬株式会社
(2)	所 在 地	札幌市北区北21条西12丁目
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 伊藤勝彦
(4)	事 業 内 容	・受託による糖鎖解析、糖鎖合成 ・糖鎖関連試薬の販売

		・疾患関連エピトープ認識抗体医薬品（診断薬、治療薬）の創製
(5)	資 本 金	134,950千円
(6)	設 立 年 月 日	2010年11月

3. 取得株式数、取得価額及び取得後の所有株式数の状況

(1)	取得前の保有株式数	－株（持株割合 －％）
(2)	取 得 株 式 数	1,250株
(3)	取 得 価 額	50,000千円
(4)	取得後の保有株式数	1,250株（持株割合11.9％）

※取得後の医化学創薬大株主の状況

取得前（2016年1月15日現在）		取得後（2016年3月31日時点）	
株式会社トランスジェニック	31.7%	株式会社トランスジェニック	35.6%
国立研究開発法人科学技術振興機構	31.7%	国立研究開発法人科学技術振興機構	23.7%
ほっかいどう地方創生投資事業有限責任組合	15.9%	株式会社免疫生物研究所	11.9%
経営陣及びその他事業会社	20.7%	ほっかいどう地方創生投資事業有限責任組合	11.9%
		経営陣及びその他事業会社	17.0%

4. 日程

2016年 3月24日 当社取締役会決議日  
2016年 3月31日 本株式取得予定日

5. 今後の見通し

現時点において当社の2017年3月期の連結業績に与える影響は未定ですが、今後、本提携の具体的な進捗に応じて業績に影響を与えることが判明した場合には、速やかに公表いたします。

以上